

(ハワイ、ホノルル)への参加。

以上のような内容で伊藤ガバナーエレクトが所信表明をされました。

その後、名古屋清須ロータリークラブの地区大会、実行委員長の江川委員長から11月9日～10日開催されます地区大会の案内があり、記念講演には元大阪府知事、前大阪市長の橋下徹氏から講演をいただきますので、ぜひ出席をお願いしたいとのことでした。

また、今回の地区研修・協議会では、本会議で「特別講演」としてロータリー公共イメージコーディネーター第2610地区富山石川地区柳生パストガバナーから「いま、なぜ公共イメージと認知度の向上か」と題して講演をいただきました。

2017年採決されたロータリーのビジョン声明では、「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」と、発表しましたが、ここ14年間でクラブ数は15%増えているが、会員数は横ばいであります。公共イメージの重要性を考えると会員の増強は不可欠で、それぞれの会員がつながりながら行動しなければ達成できません。私たちの特色を明らかにして、提供できる価値は何かを、伝え続け変化に対応していくロータリークラブでなければいけない。と特別講演をいただきました。

参考ですがロータリーの世界での認知度は上位から、インド、ナイジェリア、台湾95%、ブラジル、オーストラリア85%、と続きますが日本は58%だそうです。

その後第1分科会に出席し、初めに、伊藤ガバナーエレクトより再度、地区方針について説明があり、ロータリークラブは、人づくりでクラブ会長のより一層のリーダーシップを望みます。又、50歳以下の会員の拡大と、女性会員の拡大をして、現在4,931名の会員を5,000名にしたい。各クラブの会長は、そのビジョンを実行に移していただきたい。と、述べられました。

次期地区拡大、WFF実行委員長の神野重行パストガバナーは、2760地区の会員数を5,000名を目指して拡大をしてほしい。

又、第7回WFFの会場で、自例会を変更して例会の開催をしてほしい。

また、分区ごとのブースを設営して、それぞれのクラブが、積極的に出店をしてほしい。

WFFの収益は現在、東南アジアの地域の水、トイレ、教育支援、ポリオ撲滅に貢献しています。その為の資金として、企業広告の協力や、チケットの購入を各会員にお願いしたい。との報告がありました。

次期地区会員増強の澤田文雄委員長からは、地区の会員数が4,931名で内女性会員246名、約5%ですが、目標会員数5,000名、内女性会員300名6%を目指して拡大をしていきたい。

ロータリーの魅力は、仲間、生涯の友づくり、異業種交流の場にあります。会員増強計画を立て、5、10、20年後のクラブを見据えて、質の高い奉仕を實踐し、又、会員どうしの気配りや、目配りを強く持って魅力あるクラブの伝統を作っていくしてほしい。と述べられました。

次期地区危機管理委員長神戸邦夫委員長からは、セクハラ事件のことや、3.11東日本大震災時の青少年交換留学生の対処等のお話がありました。

地区研修協議会のまとめとして、伊藤ガバナーエレクトより挨拶があり、次期ホストクラブ大府RC加藤正俊会長から、挨拶があり長かった地区研修協議会

は、閉会を迎えました。

その後、「和ダイニング ARATA」に場所を移して、地区研修協議会出席者と懇親を深めました。

以上で地区研修・協議会報告を終了いたします。

* * * * *

◎第2分科会 松山基邦 次期副会長 テーマ：クラブをより一層強化しよう



プログラム	分科会 役職	役職	氏名
クラブでの 会員研修について	L	次期地区研修委員長	早川 和男 (名古屋東山)
クラブ奉仕それぞれの 役割について	AL	次期地区研修委員	日比野万喜男 (犬山)
クラブ奉仕について	DGN	ガバナーノミニー	岡部 務 (名古屋北)
クラブの例会について	AL	次期地区研修副委員長	古田 嘉且 (江南)

有意義な例会にするには

①なぜ入会したのか？

- ・断れない人から誘われた
- ・人とのコミュニケーションをする事が好き
- ・礼儀正しく時間を守るようになるから
- ・社会的に有名な人と話しができる

入会から1～2年目で最初のイメージと違ってくる

原因

クラブ側

- ・話しかけられない
- ・組織、委員会など説明がない
- ・判りにくい

自分側

- ・なかなか例会に出席できない
- ・自分から積極的に役割をする気にならない

子供扱い、新人扱い

⇒ロータリーの知識はないが、社会では立派な経営者であることを認める

↳ **リスペクト**

②ロータリアンの3つの義務

- 1.会費の納入
- 2.例会出席
- 3.ロータリーの友を購読する事

③ロータリーの目的は？

意義のある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことである

- ④目標を立てましょう（例）
- ・例会の100%出席
 - ・委員会活動に積極的に参加する
 - ・外部への支援事業に積極的に参加する
 - ・友人を作る

など～

- ⑤会員増強
- ・クラブ自体を強くする事
 - ・単に人を集める事ではない
- 強くする事とは
- ・人とのつながりを強くする（人との絆）
 - ・個人の向上

⇒例会の向上

* * * * *

◎第3分科会 加藤浩一 次期幹事
 テーマ：次年度公共イメージ向上委員会（委員長）の役割



先ずはじめに、地区公共イメージ向上委員会の山口委員長より、「次年度公共イメージ向上委員会の役割」というテーマでお話をいただきました。現在の地区公共イメージ向上委員会は、地区広報委員会と地区IT委員会が一緒になったもので、ロータリーの公共イメージ向上の土壌をつくる役割を担っているということでした。本会議で第2ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターの柳生様からのお話もあったように、ロータリーにおける公共イメージの向上は大変重要な事であるということです。ロータリーは意義のある活動をしていても、あまり一般の方には認知されていません。このことが非常に残念な事であります。ロータリーの認知度のアンケートを一般の方々に取ってみますと、知っているが60%、知らないが40%、そしてその知っているの中でも3分の2が、ただ名前だけを聞いたことがある、です。認知度の向上は、会員増強につながり、会員増強はクラブの活性化につながります。認知度の向上はこうした大変重要なものでありますので、まずは会員の皆様もしくは各々のクラブには、一般の方々にロータリーを知っていただくために、広報をしていただきたいということです。

広報の方法としましては、テレビ局・ラジオ局・新聞雑誌社などのマスメディアを使うことや地区やクラブのホームページやフェイスブックなどのSNSを使うことなどが挙げられます。どうぞ皆様、広報活動を行ってくださいと何度もおっしゃっていました。最後にお願いとしまして、9月2日月曜日16時より地区公共イメージ向上委員会がごさいます。年1回だけです。各クラブの委員長はぜひとも参加してください。ということでした。

次に堀尾副委員長より、積極的なマスコミの活用法

についてお話をいただきました。これもほぼ先ほどの山口委員長と同じことでしたが、ロータリーを知っていただく事、そして日頃よりマスコミと連絡を取ることを勧めていました。特にマスメディアに取り上げてもらうためマスコミに情報提供をするパブリシティー活動が重要であると述べておりました。その他マイロータリーも活用してくださいとのことでした。

マイロータリーにつきましては桐渕副委員長からもお話があり、マイロータリーは、ロータリー活動だけでなく、趣味や職業などについても共有できることがありますのでぜひ登録をとることでした。2760地区クラブ別のマイロータリーの登録状況のデータを見せてもらいましたが、犬山ロータリークラブは85クラブ中おしりから15番目くらいのところにいました。

最後に稲熊委員より、次年度地区ホームページとアプリについてお話がありました。地区ホームページは現在リニューアル中です。わかりやすく使いやすいものにするとのこと。現在ではPCよりもモバイルからのアクセスが多くなってきているので早急にモバイル対応を進めるとのこと。地区アプリケーションは、地区からの情報をスムーズに伝達することを目的に、地区の行事予定、カバナーメッセージ、例会場案内などの情報をダイレクトに見られるようにアプリを作成中とのこと。そして伊藤ガバナーエレクトの指示の下、地区事務連携システムの構築を行うとのこと。これは、D.C.S(District Connecting System)と言って、今までの各クラブの出席率や月次報告の面倒なエクセル入力から大幅な効率化を図るものであるそうです。

以上で報告終わります。

* * * * *

◎第4分科会 鈴木一成 次期国際奉仕委員長
 テーマ：社会奉仕活動のヒントを見つけよう
 国際奉仕を楽しみ、世界とコネクト



地区研修・協議会第4分科会の国際奉仕部門では、「国際奉仕を楽しみ、世界とコネクト」というテーマで開催されました。冒頭でリーダーの木村次期地区国際奉仕委員長より活動方針の発表があり、アシスタントリーダーの伊藤次期ガバナー補佐よりご挨拶がありました。その後、名古屋大須ロータリークラブ前国際委員長よりグローバル補助金を用いた国際奉仕事業の事例発表がありました。名古屋大須ロータリークラブでは、台湾の桃園市復興区の桃園国際空港からひたすら山道を登ったところにある人口700人ぐらゐの山岳民族が住む部落に、水質改善のための濾過システムを設置する事業を行いました。当初はシャープが台湾の企業に買収されるぐらゐの経済発展が著しい台湾に、

